



南高

律・啓・創

6月号

進路だより

HOP! STEP! JUMP!

平成30年6月4日  
福島南高・進路指導部

### 6月の行事予定

- 1日(金) 衣替え、県下一斉服装指導  
第3回服装・頭髪指導  
企業訪問開始(~6/22)  
第1回実用英語検定1次試験
- 2日(土) 学校開放(3年)
- 5日(火)~6日(水) 第2回交通安全指導  
第1回あいさつ運動
- 7日(木) 保健講話、SC来校日
- 9日(土) 学校開放(3年)
- 10日(日) 日商簿記検定
- 11日(月)~14日(金) 前期中間考査  
1学年保護者会/KGGS保護者会

- 15日(金)~16日(土) 進研総合学力マーク模試(3年)
- 16日(土) 第4回公務員模試
- 17日(日) 全商珠算・電卓実務検定、
- 21日(木) 国際理解セミナー(①③④⑤⑥⑦)
- 22日(金) 第1回サイエンスセミナー(文理科1・2年)
- 23日(土) 学校開放(3年)
- 24日(日) 全商簿記検定
- 26日(火)~27日(水) 前期スポーツ大会
- 28日(木) eネット安心講座(1年)/SC講話(2年)
- 29日(金)~30日(土) 進研総合学力記述模試(3年)
- 30日(土) 進研総合学力テスト(1.2年)
- 7/1(土)~ 求人票受付開始

**センター試験 1月19日まで**  
・・・あと**229日**

**就職試験開始9月16日まで**  
・・・あと**104日**

### 1年生へ

平日の学習時間	スタサポ(3月)	入学後(4月)
30分以下	5. 5%	0%
1時間程度	17. 3%	11. 8%
1.5時間程度	14. 9%	24. 1%
2時間程度	34. 2%	49. 2%
3時間以上	28. 2%	14. 9%

入学直後の学習調査の結果である。半数程度は2時間程度学習しており、学習していない生徒もいないし、君たちの意気込みが感じられる。スタサポ時点より全体的に学習時間が伸びている。ところで、今この習慣が持続しているだろうか。「継続は力なり」これはいつの時代も変わらない金言なので、今後も頑張ってもらいたい。

もうすぐ、高校入学後初の中間考査である。高校では国語・数学・英語・理科・社会が細分化され、テストの科目数が増える。なかには専門的教科も含まれる。高校の授業はスピードが速く、それぞれの科目が濃い内容になるため、テスト範囲がその分だけ広がる。それに加えて、本校は二期制である。三学期制に比べて約一ヶ月中間考査が遅い時期に設定されているため、尚更である。中学の定期考査は一夜漬けでも何とかなくても、高校では通用しない。そこで、高校式テスト対策を記述する。

#### 〈その一〉テスト対策は遅くとも2週間前から始めよう ~ もうスタートしていますか?~

授業で使用したすべてのものが、テストの出題範囲となる。教科書・問題集・ノートだけでなく、配布プリント・小テストについても対策しておこう。その時、教科書・問題集、プリントなど「理解できていない」「分からない」箇所を確認して、付箋を貼ったり、×印をつけるなどチェックしておこう。その部分を優先して学習すると直前になっても焦らずに済む。1週間前からは、テスト範囲すべての勉強を始めよう。分かっていたつもり、うろ覚えの箇所が出てくるかもしれないので、教科書の例題や解くことができた問題もやり直してみよう。とにかく反復学習を怠るな。単語・イディオム・公式・用語などの暗記事項は、何度も繰り返す。電車の中、夜寝る前など、時間を空けて反復学習をすると、記憶が定着しやすい。

#### 〈その二〉テスト範囲の増加分はスキマ時間で補おう

中学に比べて、テスト範囲が増えた分、勉強時間もおのずと増えるが、それは通学中や休み時間、就寝前の時

間など、スキマ時間を見つけてコツコツと知識を定着させよう。先輩のなかにはお風呂やトイレの時間も利用したものがある。そこまでいかななくてもちょっとした時間を無駄にするな。

君たちに要求する知的レベルは高い。「テストは難しいですか」「どこが出ますか」「赤点でなくて良かった」などレベルの低い声を聞くことがない、「学ぶ姿勢」をこれから維持していってもらいたい。

## 2年生へ

平日の学習時間	現3年の2年次	現2年の4月
30分以下	17.3%	21.1%
1時間程度	55.4%	43.3%
1.5時間程度	19.8%	20.1%
2時間程度	6.9%	13.4%
3時間以上	0.5%	2.1%

4月実施の学習時間調査の結果である。現3年よりは少しだけ、学習している人が増えているが、まだまだ学習時間が不足している。**(※2017年度入試で難関大へ合格した人の学習時間が、2年次スタサポ第1回では、平日約4割が平日2時間以上、休日においては約5割が3時間以上の学習をしているようです。)**

1時間程度の学習時間では、予習復習・そして宿題をやるだけでも足りないではないか。ましてや、不得意科目の克服に時間をかけているとは到底思えない。不得意科目をそのままにしている状態が予想できる。入学時の意気込み(1年前)はいったいどこへ行ってしまったのか？

1年生時の定期考査で高得点が取れなかった諸君。3年生になって本格的に自分の進路を考えるようになった時、評定が足りなくて、自分の希望する会社を受験できなかつたり、大学の推薦基準を満たさず、受験を断念した人が毎年いる。どうして1・2年生の時、ちゃんと勉強してこなかったのかと後悔するのである。この時期の評定が大きく自分の進路希望実現に関係していることを自覚して、1年次の失敗を繰り返さないでほしい。もうすぐ、中間考査であるが、**テスト範囲が終わらないまま、試験日を迎えてしまう。学習計画を立てても、いつも計画通りに進まない。**こんな経験をしてこなかったか？ その原因は試験直前になってからの計画ではなかっただろうか？学習計画を立てるまでは良かったが、欲張りな無理のある計画ではなかったか。ある程度余裕をもって、定期考査の2週間前には計画を立てるようにしよう。何も予定を入れない空き時間をいくつか設定して、スケジュール通りできなかつた分をリカバリーするようにしよう。友達と一緒に勉強するスタイルはあまりお勧めできない。友達に引っ張られ、どうしても気を使ってしまうからである。集中力を高めたいなら、放課後の教室・図書館など一人になりなさい。一人になれるお気に入りの場所を確保せよ。同じ失敗を繰り返すことのないように、今が考え方を変える時期である。

## 3年生へ

生活意識がまだまだ甘い。4月の学習時間調査では、平日学習時間が平均1.15時間(昨年度1.54時間)、「1時間以下」60.5%(42.3%) 「2時間以上」18.0%(39.8%)であった。昨年度の数値と比較すると、受験に対する準備・自覚が全然できていないことが一目瞭然である。どんなに部活動などに追われていようが、スキマ時間を見つけて、せつせと努力するのが受験生の姿である。放課後の3年生の教室を覗いてみても、その緊張感は感じられない。第1志望が明確で、合格を勝ち取ることができる生徒は、2年生の所でも書いたようにとっくの昔に受験勉強を始めているのだ。

前期中間考査はもう目の前である。「10/2(火)」以前に出願する者(A0入試など)・就職希望者は、今回の中間考査に基づく評定平均値が「3年次」の成績になる。心して無駄な時間をなくせ。徹底してスキマ時間を活用せよ。中間考査終了すると、すぐに進研6月マークがある。その後毎月のように模擬試験がやってくる。目標を立て、臨むべし。何月までには、900点満点で〇〇〇点を取れるように。そのためには、どの科目を何点伸ばすか、〇〇が弱点なので、ココを強化する等、しっかりとした学習計画と戦略が必要である。昨年「進路便り7・8月号」で、**6月マーク(5教科900点満点)で、470点取れば、センター試験本番で580点取れる予想ができる**、と記事を書いた。今年度も同じである。この580点前後が福島大学の各学類に合格できる点数(合格率50パーセント)なのだ。

## 就職者へ ～厚生労働省調査による「会社が採用したい人物像上位3位」～

- ①仕事への勤労意欲・チャレンジ精神(82.9%)
- ②人とのコミュニケーション能力(67.0%)
- ③マナー・社会的常識(63.8%)

## 《平成30年度進学・就職関係日程》

下記の表は、3年生の進路決定までの「道のり」である。1・2年生は3年次の「4月」には、走り始めていなければならない。「今」すべきことを「确实」にやり遂げなさい。

	進 学	就 職 ・ 公 務 員
4 月	3 学年・進路指導部打合せ 3 学年 LHR (進路ガイダンス) PTA 総会分科会 (進学・就職) (4/28)	公務員ガイダンス
5 月	出願用個人写真撮影 (アルバム用と一緒に・冬服) <b>二者面談 (5/7～18)</b>	出願用個人写真撮影 (アルバム用と一緒に) <b>二者面談 (5/～18)</b> <b>就職ガイダンス (5/24)</b>
6 月	センター試験出願予定者数調査 センター試験受験案内請求	願書取寄せ (各自) 公務員試験出願 (中旬以降 各自)
7 月	<b>小論文ガイダンス (7/3) → 『申込書 (仮)』提出</b> <b>小論文分野別ガイダンス (7/10) → 分野別指導</b>  指定校一覧・仮掲示 (夏休み直前 LHR で仮掲示) <b>三者面談 (～8月中旬) …志望校絞り込み</b> 個別指導 (志願理由書など) センター試験選抜要項発表 (～31) *オープンキャンパス (宇都宮大学・東北大学)	求人票受付開始 (7/1～) 「公務員試験受験予定表」提出 三者面談 … 就職・公務員希望校込み (～8月中旬) <b>就職塾参加 職場見学 (～8月)</b>  就職者課外 (作文指導含む)
8 月	*オープンキャンパス (山形大学・福島大学) その他各自 <b>*AO 入試エントリー開始 (8/1～)</b> (生徒 = 「AO 出願希望書」提出、担任 = 調査書準備) 指定校一覧・本掲示 <b>* 上級学校「推薦入学試験出願希望書」提出開始</b> <b>* 小論文『申込書』提出 → 担任</b> <b>第 1 回進学推薦会議 (8/31)</b>	<b>[ 就職推薦依頼申込書 ] 提出</b>  調査書依頼・出願用個人写真準備 → <b>第 1 回就職推薦会議 (8/23)</b> <b>[ 就職推薦願 ] 提出</b> 履歴書作成
9 月	センター試験受験案内取り寄せ (学校で一括) 小論文講演会 (9/14) <b>センター試験出願ガイダンス (9/18)</b> <b>第 2 回進学推薦会議 (9/25)</b>	<b>就職関係書類発送 (学校取りまとめ)</b> 模擬面接・作文練習 <b>就職試験開始 (9/16～)</b> <b>公務員試験開始 (9月～)</b> (就職推薦会議 第 2 回以降 随時)
10 月	<b>第 3 回進学推薦会議 (国公立大学等) (10/5)</b> センター試験出願 (上旬～下旬) 学校とりまとめ <b>私・専門公募指定校推薦入試</b> (推薦入学受験者面接・小論文指導)	公務員二次試験
11 月	<b>第 4 回進学推薦会議 (国公立大学推薦 II) (11/2)</b> <b>国公立大学公募 推薦入試</b>	(就職未決定者指導)
12 月	*センター試験受験票確認 (看護医療一般入試指導) 進学推薦合格者指導 (12/11) *私立大学「調査書発行願」提出 *センター利用入試出願開始 (1～3月)	就職内定者講話 (12/11)

1 月	<b>* 私立大学一般入試出願</b> <b>* センター試験(1/19・20) 自己採点(1/21)</b> センターリサーチ→志望校検討会(1/25) 二次試験出願のための面談 * 私大一般入試(下旬～) 小論文講習会(1/25) * センター利用推薦入試(福大) <b>国公立大学二次試験出願(1/26～2/6)</b>	
2 月	自宅学習 (2/1～) 国公立大学二次対策演習 <b>国公立大学二次試験(前期2/25～)</b>	
3 月	卒業式(3/1) 前期合格発表(3/1～10) <b>公立大学二次試験(中期 3/8～)</b> <b>国公立大学二次試験(後期 3/12～)</b> 中期後期合格発表(3/20～3/24)	卒業式(3/1)     ※合格体験発表(3/20)

国公立大学 選抜要項発表(～7/31)・・・日程・定員・出題科目・時間・配点など

大学入試センター試験 受験案内配付(9月上旬～)

国公立大学 募集要項発表(～12/15)

私立大学・短期大学 選抜要項発表(6月～)・・・入試方式、入試科目

私立大学・短期大学募集要項配付(7月上旬～12月上旬)・・・出願、受験、合格後の手続き



## ◎推薦入試とは？

推薦入試は、いまやほぼすべての大学に普及し、全大学の98.9%、全学部94.4%で実施している。また、全入学者の35.2%は推薦入学者が占めている。高校生活における学習活動・部活動・ボランティア活動などの実績を評価し、学校長が推薦するのがこの入試の特徴である。ここ数年で、センター試験を課さない国公立大学推薦入試の学部数はほぼ横ばいながら(2009、346学部→2018、345学部)、センター試験を課す国公立大学推薦入試の学部数は大幅に増加している。(2009、140学部→2018、345学部) 新しいところでは、英語外部検定の成績を推薦入試で利用する大学が増えている。2018年度の推薦・AO入試では、335大学(全762大学の44%、前年比7%増)が利用した。英検の級に換算すると、準2級～2級で8割以上を占めた。

推薦入試の選考方法は、およそ6パターンある。

- ①書類審査(調査書・推薦書・志望理由書など) ②書類審査+面接 ③書類審査+小論文+面接  
 ④書類審査+学力試験+小論文+面接 ⑤書類審査+学力試験+面接 ⑥書類審査+実技試験+面接である。

この中で、**合否のカギを握るのは小論文である**。めざす学部、学科に関する問題意識はもちろんのこと、自分で課題を見つけ、根拠を持って自分の意見を文章に表すことが重要視される。小論文を読んだだけで、基礎学力や学部の適性などをチェックしているのである。

## ◎AO入試とは？

AO入試は推薦入試とどう違うのか。大学にはどの大学にも入学者受け入れ方針(アドミッションポリシー)があり(簡単に言えば、こういう学生に入学して欲しいとする基準)、その適否を見るのがAO入試である。AO入試による入学者は、全入学者の9.1%に留まるが(2017年度入試)、ここ3年間で増加傾向にある。

AO入試の選考方法はおよそ5パターンある。

- ①書類審査(調査書・推薦書・志望理由書など)+面接 ②書類審査+小論文+面接 ③書類審査+学力試験+面接  
 ④体験授業+書類審査+書類審査+面接 ⑤エントリーシート+面談+書類審査+面接である。

このうち、最も多いのが⑤であり、私立大学(特に中堅クラス)の典型的なパターンだ。エントリーシートには、「志望理由」「自分の長所短所」「入学後に学びたいこと」「活動実績(部活動・ボランティアなど)」「資格取得」「将来の希望職種」など事細かに書き上げることが求められる。最近では、集団討論のような手法も取り入れられるようになった。それが**大学が求める学生像と合致しているかが合否のポイント**である。